



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 兼房株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 渡邊 将人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 鈴木 仁

TEL 0587-95-2821

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,605	△5.7	442	△35.4	206	△67.1	63	△83.4
28年3月期第2四半期	9,129	4.2	684	△26.4	626	△42.1	383	△45.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △824百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 417百万円 (31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	4.57	—
28年3月期第2四半期	27.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	25,012	20,772	83.0	1,494.39
28年3月期	27,067	21,701	80.2	1,561.19

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 20,772百万円 28年3月期 21,701百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	7.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,330	△5.3	840	△40.9	610	△47.1	360	△47.4	25.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	14,310,000 株	28年3月期	14,310,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	409,539 株	28年3月期	409,539 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	13,900,461 株	28年3月期2Q	13,900,461 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成28年11月29日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況（製品別売上高、国内・海外別売上高）	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用・所得環境の改善によって家計部門が牽引する緩やかな景気拡大が続き、英国のEU離脱が限定的影響にとどまっている欧州においても個人消費が景気の下支えをしていますが、新興諸国は、中国での景気減速やブラジル・ロシアでのマイナス成長など、一時の勢いを失っています。一方、わが国経済は、個人消費は底打ちの兆しが見られるものの、円高によって企業業績が悪化しており、景気回復への踊り場局面が依然続いています。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から微増となりました。一方、海外での売上は、円高による為替換算レートの影響などから減少となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は86億5百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

利益面につきましても、円高による為替の影響が大きく、また、製造原価の減価償却費が増加したことなどから、営業利益は4億4千2百万円（前年同期比35.4%減）となり、営業外費用では為替差損2億3千5百万円を計上したことから経常利益は2億6百万円（前年同期比67.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税効果会計の影響による税金費用の増加もあり6千3百万円（前年同期比83.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

国内向けは住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに微増したものの、海外向けは自動車関連刃物や合板用刃物が減少したことなどにより、売上高は68億7千6百万円（前年同期比5.3%減）となり、円高による為替の影響と製造原価の減価償却費が増加したことなどから、営業損失1千9百万円（前年同期は営業利益2億2千万円）となりました。

## ② インドネシア

木工関連刃物などが減少し、売上高は14億4百万円（前年同期比16.9%減）となり、営業利益は1億7千1百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

## ③ 米国

自動車関連刃物などが好調に推移し、現地通貨ドル建て売上では増加したものの円換算額では減少となり、売上高は6億6千万円（前年同期比10.4%減）、営業利益は6千6百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

## ④ 欧州

木工関連刃物などが好調に推移し、現地通貨ユーロ建て売上では増加したものの円換算額では減少となり、売上高は8億3千6百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は9千4百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

## ⑤ 中国

現地通貨人民元建て売上では増加したものの円換算額では減少となり、売上高は9億5千万円（前年同期比15.6%減）、営業利益は7千5百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて20億5千4百万円減少して250億1千2百万円となりました。流動資産は現金及び預金が7億5千4百万円減少したことなどにより、前期末比15億6千5百万円減少の116億7千8百万円となりました。固定資産は有形固定資産が4億6千9百万円減少したことなどにより、前期末比4億8千9百万円減少の133億3千4百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や流動負債その他が減少したことなどにより、前期末比11億2千5百万円減少の42億3千9百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が4千万円減少し、その他の包括利益累計額が8億8千7百万円減少したことにより、前期末比9億2千8百万円減少の207億7千2百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の80.2%から83.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7億5千4百万円減少し、当第2四半期末には24億3千6百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億2千2百万円(前年同期比46.1%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億円となり、減価償却費で7億3千6百万円、売上債権の減少で1億1千7百万円、たな卸資産の減少で1億5百万円の増加要因があったものの、法人税等の支払で2億8千6百万円、仕入債務の減少で1億3千2百万円の減少要因があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億4千8百万円(前年同期比40.1%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出で12億1千6百万円、関係会社出資金の払込による支出で4千1百万円の支出があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億4百万円(前年同期比64.3%減)となりました。これは、配当金の支払額であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

連結売上高173億3千万円、営業利益8億4千万円、経常利益6億1千万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億6千万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,191,456	2,436,612
受取手形及び売掛金	4,856,667	4,544,498
商品及び製品	1,779,500	1,584,088
仕掛品	918,899	860,718
原材料及び貯蔵品	1,969,097	1,796,517
その他	558,936	489,003
貸倒引当金	△31,185	△33,141
流動資産合計	13,243,373	11,678,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,389,001	4,234,033
機械装置及び運搬具(純額)	4,929,645	4,876,628
その他(純額)	2,646,552	2,384,569
有形固定資産合計	11,965,200	11,495,231
無形固定資産	431,232	372,271
投資その他の資産	1,427,361	1,466,921
固定資産合計	13,823,794	13,334,424
資産合計	27,067,167	25,012,722

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,783,000	1,609,990
未払法人税等	232,979	68,597
賞与引当金	349,548	327,191
その他	2,202,660	1,429,043
流動負債合計	4,568,189	3,434,822
固定負債		
退職給付に係る負債	302,071	298,909
その他	495,585	506,228
固定負債合計	797,657	805,138
負債合計	5,365,846	4,239,961
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	16,326,341	16,285,616
自己株式	△208,600	△208,600
株主資本合計	20,428,130	20,387,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	295,523	306,092
為替換算調整勘定	1,099,375	183,995
退職給付に係る調整累計額	△121,708	△104,732
その他の包括利益累計額合計	1,273,190	385,355
純資産合計	21,701,320	20,772,761
負債純資産合計	27,067,167	25,012,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,129,618	8,605,259
売上原価	6,205,103	6,012,843
売上総利益	2,924,515	2,592,416
販売費及び一般管理費	2,240,324	2,150,207
営業利益	684,190	442,208
営業外収益		
受取利息	3,099	2,152
受取配当金	11,257	10,014
デリバティブ評価益	2,136	3,580
その他	15,179	6,542
営業外収益合計	31,673	22,290
営業外費用		
売上割引	20,015	21,255
為替差損	64,933	235,118
その他	4,074	1,621
営業外費用合計	89,023	257,995
経常利益	626,839	206,504
特別利益		
固定資産売却益	130	676
特別利益合計	130	676
特別損失		
固定資産除却損	22,088	6,458
固定資産売却損	—	317
特別損失合計	22,088	6,775
税金等調整前四半期純利益	604,881	200,404
法人税等	221,590	136,875
四半期純利益	383,291	63,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	383,291	63,528

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	383,291	63,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,184	10,569
為替換算調整勘定	28,355	△915,379
退職給付に係る調整額	23,075	16,975
その他の包括利益合計	34,246	△887,834
四半期包括利益	417,537	△824,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,537	△824,306
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	604,881	200,404
減価償却費	674,860	736,872
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,022	△17,090
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,380	5,725
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20,214	38,060
受取利息及び受取配当金	△14,357	△12,167
為替差損益 (△は益)	6,892	254,454
固定資産売却損益 (△は益)	△130	△358
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,569	117,023
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76,089	105,130
仕入債務の増減額 (△は減少)	△52,408	△132,239
未払又は未収消費税等の増減額	104,856	78,668
長期未払金の増減額 (△は減少)	△9,504	-
その他	145,569	△277,781
小計	1,406,619	1,096,702
利息及び配当金の受取額	14,213	12,200
環境対策費の支払額	△5,990	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	111,936	△286,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,526,778	822,700
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,790,815	△1,216,221
有形固定資産の売却による収入	-	9,495
有形固定資産の除却による支出	△7,671	△610
無形固定資産の取得による支出	△23,578	△11,833
投資有価証券の取得による支出	△5,839	△5,357
関係会社株式の取得による支出	△53,550	-
関係会社貸付けによる支出	△197,500	-
関係会社出資金の払込による支出	-	△41,298
貸付けによる支出	△3,534	-
貸付金の回収による収入	358	17,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,082,130	△1,248,224
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△291,909	△104,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291,909	△104,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,330	△225,065
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△885,592	△754,843
現金及び現金同等物の期首残高	3,887,121	3,191,456
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,001,528	2,436,612

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,564,190	1,388,487	737,515	904,987	526,958	9,122,138
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,694,361	301,951	187	137	598,416	2,595,053
計	7,258,551	1,690,438	737,702	905,125	1,125,374	11,717,192
セグメント利益	220,744	217,299	69,213	95,138	84,149	686,546

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	7,480	9,129,618	—	9,129,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	2,595,143	△2,595,143	—
計	7,570	11,724,762	△2,595,143	9,129,618
セグメント利益	3,872	690,418	△6,228	684,190

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業務などがあります。

2. セグメント利益の調整額△6,228千円には、セグメント間取引消去23,597千円、棚卸資産の調整額△31,431千円、その他1,606千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	5,463,671	1,164,875	660,913	836,941	470,274	8,596,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,413,144	239,145	-	-	479,871	2,132,161
計	6,876,816	1,404,020	660,913	836,941	950,145	10,728,838
セグメント利益又は損失(△)	△19,001	171,955	66,724	94,576	75,218	389,473

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	8,582	8,605,259	-	8,605,259
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	2,132,251	△2,132,251	-
計	8,672	10,737,510	△2,132,251	8,605,259
セグメント利益又は損失(△)	2,747	392,221	49,987	442,208

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業務などがあります。
2. セグメント利益又は損失の調整額49,987千円には、セグメント間取引消去△56,490千円、棚卸資産の調整額110,679千円、その他△4,201千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

## ① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	29年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平 刃 類	3,152	34.5	2,919	33.9	△7.4	5,830	33.7
精 密 刃 具 類	1,815	19.9	1,915	22.3	5.5	3,920	22.6
丸 鋸 類	4,013	44.0	3,627	42.2	△9.6	7,350	42.4
商 品	147	1.6	142	1.6	△3.3	230	1.3
合 計	9,129	100.0	8,605	100.0	△5.7	17,330	100.0

## ② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		前年同期比 (%)	29年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国 内	4,707	51.6	4,744	55.1	0.8	9,910	57.2
海 外	4,422	48.4	3,860	44.9	△12.7	7,420	42.8
ア ジ ア	2,406	26.4	2,049	23.8	△14.8	3,900	22.5
ア メ リ カ	977	10.7	834	9.7	△14.7	1,660	9.6
ヨ ー ロ ッ パ	954	10.4	901	10.5	△5.6	1,710	9.9
そ の 他	84	0.9	74	0.9	△10.8	150	0.8
合 計	9,129	100.0	8,605	100.0	△5.7	17,330	100.0